

「これまでは市外在住者の団体利用に助けられていましたが、今年は市内の小、中学校をくまなく回って地元の利用を積極的に呼びかけました」

平成15年度 上半期

艇庫利用 NO.1 : 滝川市B&G海洋センター（北海道）

石狩川の支流のほとりに艇庫を構える滝川市B&G海洋センターは、北海道ならではの雄大な自然に囲まれた地の利を活かし、全国各地から野外教室や修学旅行といった団体利用者を数多く集めています。

「団体利用者は、おもに札幌市や旭川市など道内都市部の学校が多いのですが、遠方から訪れるところも多く、今年は名古屋からやってきた団体もありました」

集客は、札幌市などに事務所を構える旅行代理店にお願いしており、海洋センターが開設した10年前から団体の集客に力を入れてきました。

「10年も続けているので、団体客の利用がすっかり定着しました。ただ、カヌーやローボートで川に出るといことは天候に左右されやすく、せっかく来ていただいたのに悪天候のため川に出るのを中止するといったことも生じます」

今年の上半期における艇庫利用 NO.1 を記録した同センターですが、昨年同期に比べると少ない数字とのこと。今年は風の強い日が多く、出艇をあきらめたケースが少なくなかったという事情もあるそうです。

その一方、今年は特に地元の利用者を増やそうと、市内の小・中学校全11校をくまなく回って利用を呼びかけたそうで、夏場に250人以上の子供たちが艇庫へ遊びにやって来たそうです。また、同センターでは身体障害者の利用も積極的に受け入れており、今年は特に扱いやすくて乗りやすい船外機付のゴムボートを購入。さっそく、いくつかの障害者の団体が利用し、好評を得たそうです。



雄大な石狩川の支流に位置する艇庫だけに、カヌーやローボートでの散策は楽しさいっぱい。今年は、特に地元の子供たちの利用を積極的に推し進めました